

三原淳雄事務所閉鎖のお知らせ

新緑の美しい季節になりましたが、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

昨年末より体調を崩しておりました三原ですが、退院間近に急性肺炎にかかり、二月八日急逝いたしました。通夜及び告別式は二月十日、十一日の両日、一人息子三原淳一郎氏が喪主を務め、築地本願寺にて小雪舞う中、大勢の方々に見送つていただき執り行われました。四十九日法要の日に故郷大分に帰り、今は菩提寺である各念寺に安らかに眠つております。七十四歳の誕生日の六日前、著書九十五冊、主催する勉強会二八三回、大阪経済大学大学院の四月からの授業のカリキュラムを考えながらという何とも中途半端な終わり方は、まだまだ仕事が沢山残つているのだと言う故人独特のプライドだったのでしょうか。

一九八〇年に事務所を開設し、「命さえ取られなければ、何とかなる」を社訓に前だけを見て走り続けてきました。生前「僕はミーハーだから、何にでも興味がある」と言つておりました通りに、亡きあとの机の引き出しからは、多岐にわたる分野の資料やメモができ、陰でこんなにも

努力をしていたのだと思うと片付けるのに胸が痛みました。

未曾有の大地震、大惨事に襲われた日本に今こそ三原が必要だったなあと改めて悔やまれます。

しかしながら何の後ろ盾もなく独立し、経済評論家として考えを曲げることなく三十年、現役で人生を終わることができましたのはひとえに皆様方の暖かいご支援とご厚誼によるものと故人は深く感謝していくことを思います。それを皆様にお伝えするのが秘書として同じ気持ちでおります私の最後の務めといたします。

三原淳雄事務所はホームページ「三原淳雄の言いたい放題」(<http://www.miharaatsuocom>)だけを残し六月末日をもつて閉鎖いたします。永い間ご支援いただき、本当にありがとうございました。皆様のご健勝を心よりお祈りいたします。

平成二十三年五月

三原淳雄事務所
南雲素子